



第72回

【全国小・中学校】 作文コンクール

自由な発想で書いてみよう!



締め切り

2022年

9/6必着

部門

●小学校低学年の部 ●小学校高学年の部 ●中学校の部

テーマ

テーマ、題材は自由です。自作の未発表作品に限ります。

枚数制限

400字詰め原稿用紙(表紙を除く)

小学校低学年の部: 10枚以内 小学校高学年の部: 20枚以内 中学校の部: 30枚以内

表彰

各部門の入賞者には、賞状・トロフィー・図書カードなどを贈呈します。

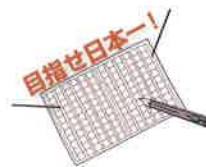
「文部科学大臣賞」1編、「読売新聞社賞」3編、「JR賞」1編、
「日本テレビ放送網賞」1編、「日本書芸院賞」1編、「入選」3編

発表

2022年11～12月に読売新聞で発表予定

応募方法

まずは公式ホームページから応募登録! 詳細はQRコードからご覧ください。



<https://jigyoku.yomiuri.co.jp/sakubun/>

主催 読売新聞社 後援 文部科学省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会

協賛 JR 東日本、JR 東海、JR 西日本、日本テレビ放送網、日本書芸院、光村印刷 協力 三菱鉛筆

読売新聞東京本社 作文コンクール事務局 TEL:03-3216-8598 (平日10時～17時) 読売 作文コンクール 検索



第72回

作文コンクール

全国小・中学校

応募要項

全国小・中学校作文コンクールは、ノーベル賞作家・川端康成や童話作家・坪田譲治らを審査員に迎え、1951年にスタートしました。毎年約1万点の応募が集まる日本一の作文コンクールです。教科書に掲載されたり、ドラマや映画になったりする作品も数多く生まれています。



応募規定

自由な発想で
書いてみよう!

締め切り
2022年
9/6火
必着

【応募資格】

国内の小・中学校および海外の日本人学校に在学する児童・生徒

【テーマ】

テーマは自由。ふだんの生活や学校で感じたこと、体験したこと、創作物、読書感想文など広く募集します。

【部門および枚数制限】

400字詰め原稿用紙でご提出ください。

小学校低学年の部：10枚以内(表紙を除く)

小学校高学年の部：20枚以内(表紙を除く)

中学校の部：30枚以内(表紙を除く)

【審査】

都道府県審査を行い、各部門で最も優れた作品が中央審査に進みます。

《中央審査委員》(敬称略、予定)

梯久美子(ノンフィクション作家)

石崎洋司(児童文学作家)

新藤久典(元国立音楽大学教授)

土橋靖子(日本書芸院理事長)

木村通子(日本書芸院常務理事)

野田杏苑(日本書芸院常務理事)



注意事項

- 応募は1人1編に限ります。 ● 絵・写真などを使用した作品は認めません。
- 規定外の作品は審査対象から除外しますので、ご注意ください。 ● 応募作品は返却しませんので、必要な場合は事前にコピーをしてください。
- 鉛筆(Bまたは2B)で濃く書いてください。応募する児童・生徒の自筆に限ります。パソコン等の使用は不可です。障害などが理由で、応募登録や審査に不安がある人は作文コンクール事務局(03-3216-8598)にご連絡ください。
- 応募作品は自作の未発表作品に限ります。二重応募(類似作品を含む)は固くお断りいたします。応募作品について、盗作等による著作権侵害の争いが生じても、主催者は責任を負いません。
- 入賞・入選作品の著作権は主催者に帰属します。優秀作品は読売新聞で紹介するほか、主催者、協賛社のホームページで紹介、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、電子書籍、教材や国内外の出版物などに使用されることがあります。
※ 記載いただいた個人情報は受賞者への連絡、作品に関する問い合わせ、取材、受賞者発表および賞状などの送付のみに使用します。

【表彰】

小学校低学年・同高学年・中学校の各部門入賞者に、賞状、トロフィー、副賞(三菱鉛筆色鉛筆・図書カード)を贈呈します。各賞の副賞は以下の通り。

- 文部科学大臣賞(1編)：図書カード1万円分
- 読売新聞社賞(3編)：図書カード5千円分
- JR賞(1編)：図書カード5千円分
- 日本テレビ放送網賞(1編)：図書カード5千円分
- 日本書芸院賞(1編)：図書カード5千円分
*文字の美しさも評価対象とします。
- 入選(3編)：図書カード3千円分



副賞の三菱鉛筆色鉛筆 No.888<36色セット>

【発表】

都道府県審査の結果は、2022年11月に読売新聞地域版で発表します。また12月上旬に中央審査の結果(受賞者全員の氏名と受賞作品の一部)を全国版に掲載します。中央表彰式は12月3日に東京都内で実施予定です。

【優秀作品集】

入賞作品は「優秀作品集」として出版されます。第71回の入賞作品を収録した優秀作品集は、通販サイト「MARUYODO」(<https://maruyodo.jp>)から購入できます。第72回の優秀作品集は2023年3月に発刊予定です。



応募方法

ホームページから 応募登録が必要です。

<https://jigyoyomiuri.co.jp/sakubun/>

ホームページは右記QRコードからアクセス。

または



※インターネット環境（PC・Wifi・プリンター等）がない場合や応募登録がうまくいかない場合は、応募登録専用ダイヤル（03-6384-4551）にご連絡ください。

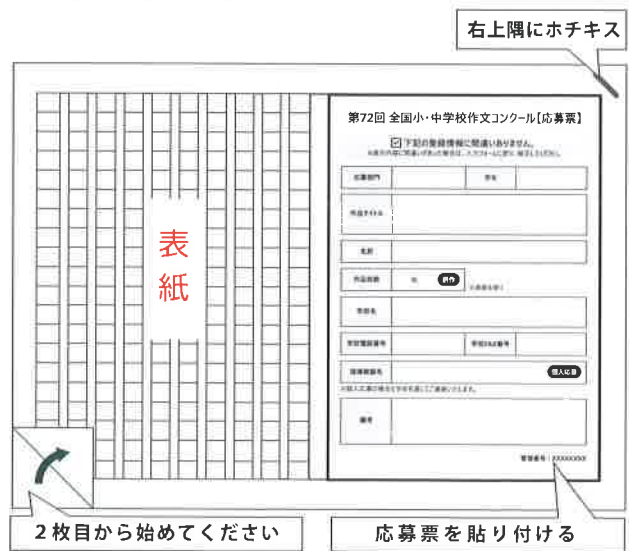
※作文コンクール全体に関するお問い合わせは、作文コンクール事務局（03-3216-8598）にご連絡ください。

ご登録いただいた、作品タイトル、名前、学校・学年、指導教諭名は、受賞者発表時にそのまま掲載します。正確にご登録ください。

- 400字詰め原稿用紙を使用してください。
- 作品を書き上げた後、ホームページにアクセスして、保護者とともに、必要情報を登録してください。
保護者のメールアドレス(ID)でアカウントを作成し、下記を登録。
 - 学校(名称、電話番号、FAX番号、指導教諭名)
 - 応募する児童・生徒(名前、学年)
 - 作品タイトル
 ※1つのメールアドレス(ID)で、兄弟姉妹の応募登録も可能です。
- 応募登録が完了したら、応募票を印刷して原稿用紙の表紙にのり付けしてください。
- 作品と合わせて右上端をホチキスで留めてください。
応募票に必要事項の記入漏れがないかご確認ください。
※個人応募の場合も、学校を通じてご連絡しますので、応募票に担任教諭名等が記載されているかご確認ください。
- 応募票を表紙に添付した作品を、都道府県別の応募先へ2022年9月6日必着でお送りください。

【作品応募方法】

- 原稿用紙表紙に、応募票をはがれないようのり付けする。
 - 応募票をのり付けした原稿用紙表紙と作品を合わせて右上端をホチキスで留める。
- ※作品は2枚目から始めて、枚数を数える際も、2枚目から数えてください。



都道府県別 作文応募先

北海道・東北	北海道	読売新聞 北海道支社 総務部事業
	青森県	読売新聞 青森支局
	岩手県	読売新聞 盛岡支局
	宮城県	読売新聞 東北総局
	秋田県	読売新聞 秋田支局
	山形県	読売新聞 山形支局
	福島県	読売新聞 福島支局
関東	茨城県	読売新聞 水戸支局
	栃木県	読売新聞 宇都宮支局
	群馬県	読売新聞 前橋支局
	埼玉県	読売新聞 さいたま支局
	千葉県	読売新聞 千葉支局
	東京都	作文コンクール東京都 事務局
	神奈川県	読売新聞 横浜支局

中部	新潟県	読売新聞 新潟支局
	富山県	読売新聞 富山支局
	石川県	読売新聞 金沢支局
	福井県	読売新聞 福井支局
	山梨県	読売新聞 甲府支局
	長野県	読売新聞 長野支局
	岐阜県	読売新聞 岐阜支局
	静岡県	読売新聞 静岡支局
	愛知県	読売新聞 中部支社
	近畿	三重県
滋賀県		読売新聞 大津支局
京都府		読売新聞 京都総局
大阪府		読売新聞 大阪本社 次世代開発部
兵庫県		読売新聞 神戸総局
奈良県		読売新聞 奈良支局
和歌山県		読売新聞 和歌山支局
海外	作文コンクール海外 事務局	

中国・四国	鳥取県	読売新聞 鳥取支局
	島根県	読売新聞 松江支局
	岡山県	読売新聞 岡山支局
	広島県	読売新聞 広島総局
	山口県	読売新聞 山口総局
	徳島県	読売新聞 徳島支局
	香川県	読売新聞 高松総局
	愛媛県	読売新聞 松山支局
	高知県	読売新聞 高知支局
	九州	福岡県
佐賀県		読売新聞 佐賀支局
長崎県		読売新聞 長崎支局
熊本県		読売新聞 熊本支局
大分県		読売新聞 大分支局
宮崎県		読売新聞 宮崎支局
鹿児島県		読売新聞 鹿児島支局
沖縄県		読売新聞 那覇支局

※応募先の住所や電話番号は、作文コンクールホームページをご覧ください。